

第31回
全国女性教職員学習交流集会
in 静岡

2022年10月29日(土)~30日(日)

子どもとともに

未来へ生きる

全日本教職員組合女性部 教組共闘連絡会 現地実行委員会

連絡先：〒102-0084 東京都千代田区三番町12-1 全国教育文化会館3階

TEL. 03-5211-0123 FAX. 03-5211-0124

コロナ時代であっても、
心寄せ合い、
ともに歩み続けましょう

全日本教職員組合女性部員
吉田 由美子

第31回全国女性教職員学習交流集会in静岡は、静岡県御殿場市で開催されます。静岡県では女性部の皆さんが実行委員会を組織し、コロナ対応を含めた準備にご協力いただいていることに感謝申し上げます。

いま、ロシアによるウクライナ侵攻が人類の命と子どもたちの未来を脅かしています。プーチン大統領は戦争犯罪と批判に対し、真実を捻じ曲げる主張を繰り返しています。この混乱に乗じ、岸田政権は「敵基地攻撃能力」を保有し、軍事費を増加させ、憲法改悪を強行しようとしています。唯一の被害国として、いまほど平和憲法が求められる時はありません。戦争という究極の暴力をなくし平和な社会を守り抜くために、私達の力を結集しましょう。

コロナパンデミックにより、ジェンダー不平等によって国内で化されてきた問題が噴出しました。そんな中でも、これまでの私たちの地道な運動により、妊産婦への「先読み加配」「不妊治療休暇」などの前進を獲得しつつあります。また「ハラスメント」問題が社会全体の課題として認知されはじめました。この動きをとらえ、さらに運動を進めましょう。

コロナ禍で、学びあうことの価値がより高まっています。ジェンダー平等と主権者を育む学校づくりの実現のために、距離は離れていても心を寄せ合い、ともに学び続けましょう。「集まれば元気、語り合えば勇気」を言葉に、静岡に集ましましょう。現地実行委員のみなさんと共に、心よりお待ちしております。



会場：静岡県御殿場市「時之酒」
オンライン・各組織サテライト会場
10月29日(土) 13:00～受付開始
13:30～17:15

●オープニング 静岡県立韮山高校吹奏楽部

静岡県立韮山高校吹奏楽部は、2年生24人、1年生19人、県東部地区で最大級の吹奏楽部です。5月の文化祭(龍城祭)、8月のコンクール、1月のアンサンブルコンテスト、3月の定期演奏会など、1年を通して、元気に活動しています。

記念講演

演題

「人の生きざらさを支える」

講師 津富 宏さん

(NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡顧問、静岡県立大学国際関係学部教授) 長期にわたる格差と貧困の拡大は、コロナ禍での経済状況の悪化により、さらに深刻化しています。特に構造的に不平等な立場に置かれている女性や若者、子どもたちの困難が増しています。この20年で進められた新自由主義により、あらゆる分野での競争が激化し、学校でも市場原理が浸透し、教育が経済社会に役立つ人材育成の場とされ、子どもたちは自己責任を内面化させられているのではないのでしょうか。他者に依存することは悪いことのように思われ、困ったときに助けを求めることができないような社会へと、だれにとっても生きづらい社会です。

「私は困ったこと、助けたいし声を出して言える、言ったら応えてくれる他者の存在がある、そんな困りごとを「難分」として人々がつながる、温かな相互扶助的なあり方がいま最も必要ではないでしょうか。弱さをさらけ出し、支え合い助け合って、「生きざらさ」を支え合える社会をつくるべく、ひたむきに活動する実践から学んでいきましょう。



学び合い 語り合い
未来をみつめよう
静岡県高等学校教職員組合
教職員組合
現地実行委員長
井上 ゆかり

私の両親は県の職員組合の専従で来た。若い頃に両親に連れられ、ハチマキをしてデモ行進に参加した記憶があります。父、母に組合の話をすると「血だねえ。」と笑われます。父は昨年亡くなりましたが、父は今という「イクメン」で、私が塾を出して学校を休むと仕事を休んで家にいるのは父でした。休みの日には友達も一緒にいろいろなる所に連れて行って行ってくれました。マスオさんだったこともあって休みの日には掃除、食事の支度、そして祖父の肩たたきもしていました。

ここ数年、男性の育児への参加を求める声をいろいろな所で大きくよみ取りました。私たち女性部も「男性の育児休暇をもっと取りやすいものに」という要求を掲げています。時代の先を实践していた父を誇りに思います。私たちの要求は未来を見据えたものなのです。長年要求してきた不妊治療制度もその一つです。今年から大きく変わりましたね。

私たちは学び合い仲間と語り合うことで、未来を見つめ、より良い未来のために今なすべきこととこれからの未来を担う子供たちの教育を考えなければなりません。この学習交流集会が皆さんにとって明日への力となればうれしいです。

基礎講座・分科会・見学分科会

会場：御殿場市「時之酒」会議室 10月30日(日) 9時～12時



基礎講座

(会場+オンライン)

人権を基盤とした包括的性教育と「生命(いのち)の安全教育」

ジェンダー平等が世界の流れになっている一方で、日本のジェンダー指数は120位(2021年)と深刻な事態となっています。長引くコロナ禍のもとで、女性の貧困が経済的・社会的格差や家族関係といった複雑な要因が絡み合いながら深刻化しています。また、社会的影響力のある人たちの女性蔑視発言もどまるところを知らずみせません。

個人の人権を守り、ジェンダー平等を表現するためには、包括的性教育は欠かせませんが、日本の性教育は遅れたままです。日本の性教育の課題と2023年度から全国で実施される「生命(いのち)の安全教育」の問題を考え、人権を基盤とした包括的性教育を進めていくための力にしていきましょう。

講師 水野 哲夫さん
(一橋大学等講師、'人間と性'教育研究協議会(性教育)代表幹事、'季刊セクシュアリティ'誌編集長)

分科会

(会場+オンライン)

①「人の生きざらさを支えるためにできること ～子どもに出会う現場から見えてくるもの～」

記念講演を受けて、「生きざらさ」を支える具体的な実践を紹介していきます。引きこもりや不登校の若者を支える富士市若者相談窓口コピカラ(居場所支援)のスタッフ、静岡市内の中高校生を対象に学習支援「居場所支援」を行っている市内の大学の学生でつくる静岡学習支援ネットワーク(SSS)の皆さん、10月ひとつの放課後深探プロジェクトと称し、中高生のやりたいことを大学生がサポートしながら実現をめざす半年間のプロジェクトを企画するYEC(若者エンパワメント委員会)の皆さんをお招きします。3者の活動から子どもをつつめる現場を聞いて、明日からの教育実践のヒントをもらいましょう。

助言者 津富 宏さん(NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡顧問)

②「すべての子どもたちの成長・発達を保障する ゆたかな特別支援教育をめざして」

子どもたちの笑顔をたくさん見たい。子どもたちの困難に寄り添い、本当の願いを受け止め、子どもたちや仲間と共に歩み成長したい。そんな全国の仲間との教育実践を共有し、交流し合う分科会です。

助言者は元兵庫県特別支援学校の教諭であり、大学で教員養成にも当たられていた三木裕和先生です。目まぐるしく変わる教育政策に翻弄される現場の教員の悩みや苦しみ、背景も解きほぐしながら、子どもが発達とともに教師としての成長を保障する学校づくりについて、ご助言をヒントに考え合います。

助言者 三木 裕和さん(立命館大学産業社会学部教授)

見学分科会

①「ハンセン病～偏見・隔離政策の歴史と人権回復への道」

(解説のみ 会場+オンライン)
集会会場「時之酒」の近くには2つのハンセン病療養所があります。車で15分程山道を走ると国立数河療養所、そして現存する日本最古の神山復生病院(民間)が会場です。今回は全国の療養所を歩いた歴史教育者協議会の岩脇彰先生にハンセン病隔離政策の問題点を解説していただき、神山復生病院を見学します。

助言者 岩脇 彰さん(元小学校教諭 歴史教育者協議会委員)

②「ジェンダーの目で見える鎌倉殿の女性たち」

(現地のみ 8:30～ 定員30人を超えた場合は抽選)
北条早雲の隠居御所跡、そして鎌倉秀吉の韮山城包圍と数々の戦いの戦い、くりひろげられた、列島史につながる歴史の舞台です。遺跡には過去を彷彿とさせる感動があります。今回は鎌倉幕府初代執権北条時政の居館跡を中心に、その周辺にある頼朝や政子、義時そして謎多き八重姫ゆかりの地や、15代執権北条高時の母である尼庵の尼寺跡を訪ねて、その人物を思い浮かべながら、ジェンダーの視点で鎌倉時代の女性の姿を、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

助言者 石田 義明さん(元静岡高教組委員長)

第31回全国女性教員学習交流集会in静岡

参加申込書

日時 10月29日(土)・10月30日(日)

場所 御殿場高原 時之栖(ときのすみか) 静岡県御殿場市神山719
公共交通機関:新幹線三島駅から送迎バス有/自家用車:裾野I.Cから10分、駒門スマートI.Cから5分

費用 **参加費** 1,000円 (現地参加、オンライン参加とも)

宿泊 A シングル(温泉入浴希望の場合は+600円) 8,500円
B 和洋室(相部屋・温泉入浴込み) 3名:8,500円/4~5名:8,000円/6名:7,500円
小学生6,000円 幼児(3歳以上)2,300円

夕食 レストラン麦畑(バイキング、飲み放題) *交流会はありません
大人3,300円 中学生2,750円 小学生1,650円 幼児(3歳以上)550円

締め切り 8月31日(水) 期限厳守
*下記『参加申込書』に記入し、各構成組織の女性部または私教連女性協にお申し込みください。

取扱旅行会社 (株)時之栖ツアーズ TEL 0550-86-0261

第31回 全国女性教職員学習交流集会in静岡 参加申込書

*お申込の際は参加者1人1枚ずつ記入し、各組織の女性部・私教連女性協を通じてお申し込みください。

ふりがな		勤務先 (学校等)	
氏名		TEL	
自宅住所	〒	E-mail	
参加方法 / 基礎講座・分科会希望 / 保育希望 / シャトルバス利用			
参加方法に○をつけてください。⇒	現地参加	オンライン参加	保育
希望の基礎講座・分科会番号を記入してください。 ①基礎講座 ②分科会1 ③分科会2 ④見学分科会1 ⑤見学分科会2(現地のみ2,000円*当日清算)	第1希望(現地) 第2希望(現地)	第1希望(オンライン) 第2希望(オンライン)	()名 ()歳()歳 希望日 29日・30日 500円/1日1人 *当日清算
シャトルバス利用	行き(29日)	乗車希望 有・無	三島駅北口発 12時10分
<現地参加>(無料)	行き(30日)	乗車希望 有・無	三島駅北口発 8時00分
*この他往復定期便有	帰り(30日)	乗車希望 有・無	ホテル前発 12時30分
宿泊・夕食希望 <現地参加>			
当てはまるところに記入、または○印をつけてください。	同室希望者のお名前	家族・お子さんのお名前	夕食希望 有・無
<相部屋> 可()名部屋希望・不可			参加者以外の大人()名
<同室希望者> 無・有 ⇒記入			中学生()名 小学生()名
			幼児()名
合計金額 <参加費1000円+宿泊代(希望する部屋の金額)+夕食代>		円 (当日清算の見学分科会2と保育は含まない)	

*旅行手配に必要な範囲内での大会事務局・宿泊機関等への個人情報の提供について同意し、上記の通り申し込みます。

●三島駅 新幹線発着時刻(2022年5月30日現在)

10月29日 三島駅着 上り:11:49(こだま) 11:57(ひかり) / 下り:11:20(こだま) 11:45(ひかり)

10月30日 三島駅発 上り:13:54(こだま) / 下り:13:46(ひかり)